

彙 報

研究活動等 (2010年1月～2010年12月)

総合政策学科

黒羽雅子

1. 著書論文

- (1) 単著「インサイダー・レンディング再考—産業革命期米国ニュー・イングランド地方の銀行と産業金融—」粕谷、斎藤、伊藤編『金融ビジネスモデルの変遷—明治から高度成長期まで』日本経済評論社、2010年8月所収。

2. 報告書

- (1) 共著(研究代表)『山梨県産業金融史』地域研究交流センター共同研究報告書2010年3月。

3. 講演

- (1) 単独「山梨産業金融史 ～幕末から明治—時代の変遷を学ぶ その3—」(富士川町「地元力」増進講座 with 山梨県立大学—富士川町起点の元気印やまなし—)
日時:2010年9月25日(土) 於:富士川町・町民会館

熊谷隆一

1. 学会報告

- (1) 学会ポスターセッション(共同)
「四菱まちづくり総合研究室—甲府市中心街で学生が主体的に運営する『まちなか研究室』—4周年を迎えた2010年度の活動報告」
第27回全国自治体政策研究交流会議(8月19日、佐賀県武雄市文化会館)、第24回自治体学会(8月20日、佐賀県武雄市文化会館)

2. 報告書(編著)

- (1) 「よつびし総研パンフレット2009-2010」(山梨県立大学地域研究交流センター・地域研究プロジェクト、3月20日発行)

3. その他

- (1) 社会的活動(アドバイザー)

よつびし総研主催「ガチンコジウムⅣ 学生と店主とで考える甲府中心街の行方～甲府・都市空間調査2009を踏まえて～」アドバイザー(2月26日、桜座)

- (2) 社会的活動(アドバイザー)

「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事(2007年4月14日～、継続)

山梨県立大学と「四菱まちづくり総合研究室」との「山梨県立大学元気な中心市街地賑わい創造事業」業務委託契約(2010年8月2日～、継続)

- (3) 社会的活動(アドバイザー)

「甲府市におけるビジネス客および観光客動向調査」(「四菱まちづくり総合研究室」調査事業、2010年9月～10月)

- (4) 社会的活動(アドバイザー)

「甲府市中心街歩行量調査」(「四菱まちづくり総合研究室」調査事業、2010年11月28日～30日)

- (5) 社会的活動(委員会委員)

「甲州市行政改革推進委員会」会長(2010年7月～、継続)

- (6) 社会的活動(研究会委員)

「甲府市自治基本条例推進研究会」会長(2010年8月～、継続)

- (7) 社会的活動(学会理事)

富士学会理事(2009年4月1日～、継続)

- (8) 社会的活動(研究員)

(社)神奈川県地方自治研究センター特別研究員(2005年4月～、継続)

澁谷 彰久

1. 論文

- (1) 単著 (2010年3月)「保険約款の現代的課題－高齢契約者保護の視点から－」
生命保険に関する調査研究報告(要旨)
(No.20)
(財)かんぽ財団(46-49頁 総87頁)

2. 研究助成授与・その他

- (1) 単独 (2010年4月)日本学術振興会科学研究費 基盤研究C(一般)採択(研究代表)
テーマ:「高齢者財産管理における地域連携モデルの研究」
- (2) 単独 (2010年7月)かんぽ財団より研究助成金授与
テーマ:「地域における高齢者保険契約の問題点」
- (3) 共同 (2010年7月)山梨県立大学教育GP
主催成年後見法施行10周年記念講演会
「あなたの財産を誰に託しますか?－超高齢化社会における地域連携と法－」
コーディネーターを担当。

堤 マサエ

1. 編著書

- (1) A Turning Point of Women, Families and Agriculture in Rural Japan
2010年2月,GAKUBUNSHA,303頁,平成21年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)助成.刊行書.

2. 雑誌の単著

- (1) 「女性が住みやすい農村地域づくり－働き・暮らし・子育てしやすい場と関係を探る－」単著[農村と都市をむすぶ](平成22(2010)年8月No.706),全農林労働組合、農村と都市をむすぶ編集部14-24頁.

3. 講演他

- (1) 基調講演「少子化時代の人・地域づくり」
2回、韮崎市
北杜市教育事務所、峡北地区地域教育推進
連絡協議会講演、6月29日
中北教育事務所、中北地区地域教育推進連

絡協議会講演、7月1日

帆足 俊彦

1. コンピュータ・プログラム

- (1) 『財務データ：日本経済・経営分析・財務分析・業界分析』
単著：帆足俊彦著
データ提供：日本政策投資銀行設備投資研究所・(財)日本経済研究所
<http://www.zaimudata.com/> (2010年10月)

2. 講演

- (1) 単独「会計理念に係る現代の会計事象」
基調講演
第48回全国簿記教育研究大会－アピオ甲府大ホールにて(2010年3月)
全国商業高等学校校長会、(財)全国商業高等学校協会 主催
<http://hoashi.org/>

3. 審査員

- (1) 「平成22年度第6回山梨県高等学校生徒商業研究発表大会」審査員－2010年7月27日
山梨県立文学館ホールにて
山梨県高等学校商業教育研究会 主催

安達 義通

1. 論文

- (1) 単著(論文)(2010年3月)‘An Examination of Knowledge in Nonaka’s Theory in terms of the TEAM Linguistic Framework and in relation to Organization Studies in the West’「山梨県立大学国際政策学部紀要」第5号、2010年3月 pp.99-108

2. 報告書

- (1) 共著(2010年3月)「エコソムリエッターのための古民家集落意識調査」(八ヶ岳南麓エコツアーリズム推進協議会)
- (2) 共著(2010年3月)「地域資源を活かしたビジネス展開の可能性について－甲斐絹の伝承と発信のためのプログラム開発」(山梨県立大学地域研究交流センター)

3. その他

- (1) 委員会 (2010年1月～5月) 2010年笛吹市多目的施設建設検討委員会

大西康雄

1. 研究報告

- (1) 「Gmail システムを用いた大学メールシステムの構築と運用」共著 (八代 一浩, 大西康雄, 岡 裕人, 石原佳典) 研究報告インターネットと運用技術 (IOT), 2010-IOT-8(13), 1-6 (2010-02-22)

2. その他 (エッセイ)

- (1) 「高橋和宏先生と仲間たちの日々」単著『人文学報』第422号, 1-5 首都大学都市教養学部人文社会系・東京都立大学人文学部 2010.3

二宮浩輔

1. 論 文

- (1) 『カンボジア第二メコン架橋計画における環境社会配慮プロセスとその効果』、「山梨県立大学国際政策学部紀要」第5号、2010年3月 pp.83-98

2. 学会報告

- (1) 日本地域学会第47回年次大会『小水力発電における市民参加の可能性と課題—山梨県北杜市の取り組みを事例として—』日本地域学会、2010年10月9日—11日
- (2) 国際開発学会第21回全国大会『ODAの環境社会配慮—制度変化がもたらす新しいガバナンスの展開とその課題—』国際開発学会、2010年12月4日—5日

3. その他

- (1) 北杜市小水力発電実現可能性検討委員会 (1月～3月)
- (2) JICA (国際協力機構) 環境社会配慮助言委員会 (7月～)
- (3) 第27回ネクスト・ウェーブ・フォーラム「豊かな環境資源を活かした山梨づくりのために」(パネルディスカッションコーディネーター) 2010年7月15日

平田忠輔

1. 論 文

- (1) 単著「もうひとつの脱構築と他者との政治的關係」(1) 『山梨国際研究』第5号、2010年、pp.15～30

箕浦一哉

1. 国内学会発表

- (1) 単独発表 (2010年9月) 「音環境マネジメントにおける住民参加の可能性」2009年度日本騒音制御工学会秋季研究発表会、新潟大学 (新潟市).

2. 報告書

- (1) 共著 (2010年3月) 『エコソムリエッターのための古民家集落意識調査』八ヶ岳南麓エコツーリズム推進協議会報告書。

3. 講演等

- (1) シンポジウムコーディネータ (2010年2月) 「自然からの手紙—日韓の美術家による対話—」, 主催: エコアートネットワーク山梨, 於甲府市。
- (2) 講演 (2010年4月) 「私たちにできること: 環境コミュニケーションを広げるために」, 主催: パールスロー, 於甲府市。
- (3) ワークショップ講師 (2010年7月) 「八ヶ岳南麓風景街道ワークショップ」, 主催: 八ヶ岳南麓風景街道の会, 於北杜市。
- (4) シンポジウムパネリスト (2010年10月) 「国民読書年記念イベント: ここだけの本のはなし」, 主催: 山梨県書店商業組合, 於甲府市。

森田玉雪

1. 論 文

- (1) Onozaka, Y., H. Uchida, Tamaki Morita, and S. Managi, (July/August 2010). "Uninformed or Uninterested? Surveys Examine Japanese Consumers' Interest in Sustainable Seafood". *Global Aquaculture Advocate* Vol. 13, Issue 4, pp. 58-60.

2. 著 書

- (1) 森田玉雪、馬奈木俊介 (2010年5月) 「水産エコラベリングの発展可能性—ウェブ調査による需要分析」、寶多康弘・馬奈木俊介編著『資源経済学への招待—ケーススタディとしての水産業』ミネルヴァ書房、第9章 (173頁～204頁 268頁)。

3. 研究助成

- (1) 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究B)、研究代表者 (2009～2012年度)。
テーマ: 「世界的な資源の囲い込みが進展する中での戦略的な資源政策」

4. その他

- (1) 報告 (単独) 「日本における水産エコ・ラベリングの発展可能性: インターネットサーベイによる需要分析」RIETI セミナー『我が国における資源・環境問題に関する経済分析』(2010年5月)
- (2) 国際基督教大学教養学部非常勤講師 (ミクロ経済学原論)
- (3) 専修大学商学部非常勤講師 (経済学 I / 現代経済)
- (4) 政策研究大学院大学非常勤講師 (入門ミクロ経済学、政府と市場、教育政策分析演習)
- (5) 独立行政法人経済産業研究所「水産業における資源管理制度に関する経済分析研究会」委員 (2007年9月～2010年6月)
- (6) 独立行政法人経済産業研究所「産業政策検討会」委員 (2010年9月～)

国際コミュニケーション学科

秋山洋一

1. 学会講演

- (1) 「山梨方言の表現法の探索」
(国語研究会<国学院大>前期大会、h22, 7)

千森幹子

1. 著書

- (1) 単著 (2010年5月)『『ガリヴァー旅行記』
図像とオリエント—英仏挿絵に見る日本表象
を中心として—』『十八世紀イギリス文学研
究 第4号 交渉する文化と言語』、開拓社、
pp.58-78.
(2) 単著 (2010年5月)「英版『ガリヴァー旅
行記』図像における中国表象」『日本ジョン
ソン協会年報』第34号、11-16.

二戸麻砂彦

1. 学術論文

- (1) 単著「原形本色葉字類抄の音注」(山梨
県立大学国際政策学部紀要第5号 pp.01-18、
2010年03月)

前澤哲爾

1. 書籍・雑誌・報告書

- (1) 「地域づくり」(財団法人地域活性化セン
ター発行1月号) 12 p～13 p
「接客のスペシャリスト養成に注力」

2. 新聞原稿

- (1) 山梨日日新聞・日曜経済面「展望台」に原
稿連載 (05年6月～)
1月24日「年賀状の経済学」
2月28日「朝市が地域を元気にする」
4月4日「公立大学法人山梨県立大学スタート」
5月9日「国際博覧会と新技術開発」
6月13日「中国人観光客が殺到する北海道」
8月1日「映画は、やっぱり映画館で見よう」
9月19日「甲府のまちの芸術祭」
10月10日「とことん語ろう！観光ビジネス」
11月14日「ゆるキャラ『やまちゃん』をよ

ろしく」

12月26日「若者よ 起業を目指せ！」

(2) 記事掲載

- 7月25日 山梨日日新聞1面トップ「映画
見れば脳活性？」
8月7日 山梨日日新聞「顔」欄「前澤哲爾
映画と健康 結びつき調査」
9月15日 日経新聞「高齢者、映画で脳活
活性化？」
9月17日 山梨日日新聞「『映画で脳活性』
測定スタート 10人が『青い山脈』鑑賞」
9月17日 朝日新聞「青春映画は『脳』を
若く？ 県立大実験スタート」
9月19日 毎日新聞「映画で脳を活性化
全国初 県立大が実験開始」
12月4日 山梨日日新聞「やまなし映画祭
県立大が支援、内容一新」

3. 地域プロジェクトの実施

- (1) 「やまなし・ディスカバラー・プロジェクト」
の企画・実施
第1回 FW4月29日南部町、第2回 FW5
月5日～6日大月市・上野原市、
(2) 「インバウンド観光教育プログラム」(文部
科学省「学び直しニーズ」採択事業)
3月第3期報告書完成
(3) 「観光講座」プロデュース
第1回10月16日 萌木の村 村長 船木
上次氏「常に良質なものにこだわり、お客様
に愛される村をどう作ってきたか？」
第2回 10月23日 株式会社タンザワ
社長丹沢良治氏「全国の観光地を知り尽くし
て、今山梨で何をしようとしているか？」
(4) 「忍野村との連携地域プロジェクト」
1月31日「ホトケドジョウ」委員会
2月22日「教育」委員会
3月29日「健康」委員会。
(5) 「外国語放送プロジェクト」の企画・実施
1月～9月毎週日曜日9時～9時30分放
送、10月～12月毎週土曜日11時～11時30
分放送
ポルトガル語・中国語番組制作 毎月第3

日曜日に収録・編集

韓国語・スペイン語番組制作 毎月第1日
曜日に収録・編集

5月23日「チャスカ フォークロア・コン
サート」山梨県立大学講堂

(6) 「地域プロデューサー養成講座」企画・実施
2月20日 10時～19:30に実施

(7) FPU SUMMITS プロデュース
5月8日「知事VS学長 地域における大
学の力」講堂で実施

(8) 「ブランディング・プロジェクト」
「やまちゃん」公募・決定、着ぐるみ制作、
ビデオ番組制作
大学広報誌「Souffle (スフル)」の編集・
発行

4. 理事、委員などの活動

(1) 山梨県立大学「地域研究交流センター」セ
ンター長(10年4月～)

(2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02
年10月～)

(3) 「現代美術センター CCA 北九州」評議員(05
年4月～)

(4) 国際NGO「シャプラニール=市民による
海外協力の会」評議員(05年4月～)

(5) 「アースビジョン・地球環境映像祭」審査
委員長(06年8月～)

(6) 群馬県「ぐんまフィルムコミッション連絡
会議」顧問(09年4月～)

(7) 台東区「東京ダウタウン・アートサポー
ト懇談会」副座長(07年4月～)

(8) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委
員会委員(08年1月～)

(9) NPO 大学コンソーシアムやまなし 企画
運営委員(10年4月～)

(10) 山梨県広聴広報課 CM コンペ審査委員(09
年6月～)

(11) やまなし映画祭実行委員会委員(08年7
月～)

(12) 山梨県「宝美アクティブプラン」検討委員
会委員(09年6月～11年3月)

(13) 忍野村・山梨県立大学「包括連携協定推進

委員会」委員長(09年7月～)

(14) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」
理事(08年5月～)

(15) 山梨県工業技術センター評議員(10年6
月～)

(16) 山梨県国民文化祭実行委員会企画委員(10
年8月～)

5. 講演・パネラーなどの活動

2月20日 甲府・サテライト教室「地域プロ
デューサー養成講座」講師

3月7日 東京・四谷区民ホール「アースビジョ
ン・地球環境映像祭」審査講評

3月14日 山梨市・街の駅「市民活動のビッ
グバン」WS 司会

5月16日 甲府・桜座「ライブテープ上映会」
トークショー 司会

5月30日 東京・韓国 YMCA ホール「一新塾
23期活動中間報告」コメンテーター

6月15日 甲府・サテライト教室「やまなしフィ
ルムコミッション連絡協議会」講師

7月14日 東京・一新塾「地域プロデューサー
養成WS」講師

9月17日 富士吉田市・中村会館「映画とま
ちづくり」講師

11月7日 東京・日本教育会館「一新塾24期
活動中間報告」コメンテーター

11月11日 北九州市立大学「公立大学の地域
と連携した学生支援」事例発表者

12月24日 富山市・富山国際大学「フィルム
ツーリズムと外国人誘客」

6. メディア出演など

(1) 1月31日 FM 甲府「Hello! TAGENGO」

(2) 4月23日 NHK 総合「まるごと山梨」大学
紹介 YDP 活動

(3) 6月21日 YBS テレビ「やまなし元気ナビ!」
地域貢献の山梨県立大学

(4) 7月21日 YBS テレビ「YBS ワイドニュース」
地域映像制作

(5) 9月17日 テレビ山梨「UTY ニュースの星」
映画による脳活性化

(6) 9月17日 YBS テレビ「YBS ワイドニュース」

映画による脳活性化

7. 調査研究など

- (1) 教育 GP「問題解決型サービス・ラーニングによる新公立大学モデル」申請
7月27日ヒヤリング、8月31日採択。
- (2) 「映画鑑賞が高齢者に与える脳活性化の効果研究」(科研費 挑戦的萌芽研究)
9月16日 甲府市内映画館「武蔵野シネマ5」で、第1回測定

山本武信

1. 新聞論説

共同通信社『にっぽん診断』全国60紙配信(北海道新聞、岩手日報、河北新報、福島民友、茨城新聞、埼玉新聞、上毛新聞、神奈川新聞、中部経済新聞、大阪日日新聞、高知新聞、徳島新聞、中国新聞、日本海新聞、山口新聞、長崎新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムズ等々に掲載)

- (1) 「スズキはのみ込まれるかー世界ーを目指すVWの野望」2010年1月
- (2) 「常態化するリコールの原因ー競争激化で不具合が多発」2010年3月
- (3) 「“就職に強い大学論”の虚実ー就職活動で成長する学生たち」2010年4月
- (4) 「市場原理より共生論理をーギリシャもう一つの視点」2010年5月
- (5) 「危機に一番強い自足の人ー量的拡大から質的充実へ」2010年7月
- (6) 「EU型共生か米国型競争かードイツ統一20年が語る未来」2010年8月
- (7) 「見直そう『新聞の効用』ー健全な社会感覚を培う」2010年9月
- (8) 「過剰競争が促す草食化ー健全な夢を描ける社会の再生を」2010年11月
- (9) 「タブーを破るネットの自由ー第5権力の光と影」2010年12月
- (10) 「知る異文化 就活は成長の場」SankeiBiz 2010年4月
- (11) 「就職活動で成長する学生たち」フジサンケイ・ビジネスアイ 2010年5月

- (12) 「新聞を読む効用ーアナログの力」沖縄タイムス 2010年11月

2. 報告書その他

- (1) 報告書:「アメリカ型市場原理主義の終焉ー現代社会と人間のゆくえ」『阪南大学産業経済研究所年報』第38号 2010年1月21-23頁
- (2) 教科書:「国際社会を知るためのキーワード100」阪南大学国際コミュニケーション学部編、2010年3月、分担執筆
- (3) 翻訳プロデュース協力: Ingrid Steiner-Gashi, Dardan Gashi “Im Dienst des Diktators – Leben und Flucht eines nordkoreanischen Agenten” 2010 Carl Ueberreuter GmbH、(東洋経済新報社編) 2010年4月
- (4) 識者コメント:「ギリシャ財政危機とEUの今後」『週刊東洋経済』2010年5月

吉川豊子

1. 論文(単著)

- (1) 単著「日露戦時下における女性作家の登場と戦争物小説ー投稿家時代の水野仙子・永代美知代と大塚楠緒子の初期作品ー」『社会文学 特集 日露戦争と文学』32号(日本社会文学会、2010年6月)

2. 著書

- (1) 単著『新編 日本女性文学全集 第3巻』(責任編集・解説・解題・年譜など) 2011年1月 菁柿堂
収録作家: 大塚楠緒子、森しげ、岡田八千代、尾島菊子、水野仙子、国木田治子、小栗壽子、永代美知代

3. 辞典

- (1) 分担執筆『近代日中関係史人名辞典』2010年7月 東京堂出版
執筆項目: 林美美子、与謝野晶子、吉屋信子、田村俊子、平林たい子、菊池寛

安藤淑子

1. 論文

- (1) 単著「在住外国人日本語学習者に必要な「漢字能力」とは何か 漢字不使用に対する母語

話者許容度調査」(2010年3月)『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第5号 山梨県立大学国際政策学部 pp43-52.

- (2) 単著「地域在住外国人の多様な背景要因と日本語能力との関連に関する考察 日本語学習が必要なのは「誰」なのか」『移民政策研究』第2号 移民政策学会 pp159-168

- (3) 単著「地域課題の解決に向けた「開発型」サービス・ラーニング～大学・地域共同開発プロジェクトと学部専門カリキュラムの統合～」『ボランティア学習研究』第11号 日本ボランティア学習協会(印刷中)

2. 報告書

- (1) 共著「大学と地域の連携による多文化共生推進プロジェクト」『山梨県立大学地域研究交流センター平成21年度報告書』山梨県立大学地域研究交流センター

3. 講演、その他

- (1) デザイン講座(第三回、四回)(2010年1月31日、2月6日)山梨県立大学地域研究交流センター(主催)・県工業技術センター(協力)企画・コーディネーター

- (2) 「日本語学習と教科学習の連関～評価と学習項目～」(2010年2月9日)第三回 帰国・外国人児童指導者研修会(山梨県)・講師

- (3) 「日本語を母語としない児童生徒と学校教育：日本語指導が必要な子どもたちとは」(2010年10月30日)シンポジウム「外国にルーツを持つ子どもたちと学校教育」(主催 山梨県国際交流センター)企画・コーディネーター・講師

- (4) 県民コミュニティカレッジ広域ベース講座「地域の国際化がもたらす可能性」(2010年12月5日)山梨県立大学・大学コンソーシアムやまなし・企画・コーディネーター

- (5) 県民コミュニティカレッジ地域ベース講座第2回(2010年12月11日)山梨県立大学地域研究交流センター主催 企画

伊藤ゆかり

1. 論文

- (1) 単著(2010年3月)「娘として母として：ケネディ劇における家族」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第5号、pp. 53-62

高野美千代

1. 論文

- (1) 単著(2010年3月)

“Anthony Wood’s *Athenae Oxonienses* and the Subscription Publication in Seventeenth-Century England”

英米文化学会 『英米文化』第40号、pp. 77-88.

- (2) 単著(2010年3月)

「書物史における Sir William Dugdale の *The History of St. Paul’s in London* (1658)」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第5号、63 - 72頁

2. 発表その他

- (1) 国際学会主催および研究発表(2010年11月11日)

科研費による国際研究集会「書物史の要素から見る17世紀イギリスの出版物」、甲府市談露館

研究発表「著者と読者の間に～17世紀イギリス書物史一考察～」

- (2) 17世紀英文学会東京支部例会(2010年11月13日)

研究報告「ロバート・ワイルドの *Iter boreale*」

張 兵

1. 論文

- (1) 「国家総合改革試験区から見た中国の地域政策の方向性」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第5号 2010年3月

- (2) 「日本住房保障制度的経験と啓示」中国地理学会『産業集群、区域創新与区域治理學術研討會論文集』2010年7月

2. 学会発表

- (1) 「中国改革開放の新動態と日本企業の対応」アジアフォーラム 21 平成 21 年度第 6 回研究会 2010 年 3 月 11 日山梨県立大学
- (2) 「日本住房保障制度的経験と啓示」中国地理学会産業集群、区域創新与区域治理學術研討会 2010 年 7 月 21 日中国上海

3. 報告書等

- (1) 「山梨の魅力に対する外国人の認知度」山梨県立大学地域研究交流センター 2009 年度研究報告書『大学と地域の連携による多文化共生推進プロジェクト』2010 年 3 月
- (2) 「外国人から見た山梨の魅力」山梨総合研究所『News Letter』Vol.142 2010 年 5 月
- (3) 「山梨の魅力—外国人 100 人調査」『山梨日日新聞』2010 年 6 月 2 日
- (4) 「積極的な現地対応で人気を呼ぶ吉野家」『中国ビジネスヘッドライン』(<http://www.chinabusiness-headline.com> 下同) 2010 年 8 月 9 日
- (5) 「人間本位のインフラ整備—中国の課題と日本のノウハウ」『中国ビジネスヘッドライン』2010 年 9 月 5 日
- (6) 「中国経済版図の変容と新たな成長極」『中国ビジネスヘッドライン』2010 年 11 月 13 日
- (7) 「今後 5 年、上海はこう変わる」『中国ビジネスヘッドライン』2010 年 11 月 20 日
- (8) 「日系企業の中国撤退: その実態と原因」『中国ビジネスヘッドライン』2010 年 12 月 3 日
- (9) 「2011 年の中国経済: 安定成長、調整転換」『中国ビジネスヘッドライン』2010 年 12 月 18 日

4. 講演等

- (1) 「量から質へ転換する中国と日本の対応」やまなし産業支援機構第 78 回中堅企業国際文化交流会 2010 年 5 月 26 日甲府市古名屋ホテル
- (2) 「中国消費市場の動向と展望」山梨県工業技術センター繊維情報技術講習会 2010 年 6 月 18 日山梨県工業技術センター
- (3) 「外国人から見た山梨の魅力と課題」大学

コンソーシアムやまなし 2010 県民コミュニティーカレッジ 2010 年 12 月 5 日山梨県立大学

- (4) 第 34 回山梨県教職員文化展書道部門出品 2010 年 1 月 21 日～27 日山梨県立美術館

戸田 徹子

1. 論文

- (1) 単著 (2010 年 3 月) 「米国フレンズ奉仕団と日本」山梨県立大学国際政策学部紀要、第 5 号、pp. 73-82

2. 報告書

- (1) 単著 (2010 年 6 月) 「科学研究費補助金研究成果報告書 (1920 年代から 40 年代におけるフィラデルフィア年会ミッション・ボードと日米関係)」

名和 敏光

1. 論文・その他

- (1) 著書『黄金の言葉 漢詩編』今西幹一監修、勉誠出版、2010 年出版予定、分擔執筆。
- (2) 論文「天水放馬灘秦簡《日書》乙種〈行忌〉筭記」復旦大學出土文獻與古文字研究中心(中國上海市)、HP: http://www.gwz.fudan.edu.cn/SrcShow.asp?Src_ID=1268、2010 年 9 月 22 日、科学研究費補助金による成果。
- (3) 論文「天水放馬灘秦簡『日書』乙種「行忌」考」『出土資料と漢字文化圏』汲古書店、2011 年 3 月出版予定、科学研究費補助金による成果。

2. シンポジウム・総合司會

- (1) 科研シンポジウム、復旦大學出土文獻與古文字研究中心(中國上海市)より劉釗教授・施謝捷教授を招聘、2010 年 12 月 18 日、於東京大學東洋文化研究所、科学研究費補助金による成果。

3. 國際學會參加・海外調査

- (1) 國際學會招聘「北京大學主催“老子: 文獻與思想”國際學術討論會」中國北京市北京大學、2010 年 9 月 6～7 日。
- (2) 國際學會招聘「湖南大學岳麓書院藏秦簡國際研讀會」中國湖南省長沙市湖南大學岳麓書

院、2010年9月21～23日。

- (3) 北京調査旅行、中華人民共和國北京市、2010年3月14日～28日、科学研究費補助金による成果。
- (4) 上海調査旅行、中華人民共和國上海市復旦大學出土文獻與古文字研究センター、2010年8月29日～8月1日、科学研究費補助金による成果。
- (5) 北京・山東調査旅行、中華人民共和國北京大學・山東大學、2010年9月4日～18日、科学研究費補助金による成果。

4. 學會役員・その他

- (1) 中國出土資料學會理事、2008年4月1日～現在。
- (2) 大東文化大學人文科學研究所兼任研究員、2005年4月1日～現在。
- (3) 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代文獻の成立に關する多角的研究」研究員、2009年4月1日～現在。
- (4) 研究分擔者：平成20年度科学研究費補助金（基盤研究（B））平成20～22年「新出土資料を通して見た古代東アジア世界の諸相—漢字文化圏の中の地域性—」（研究代表者：谷中信一 研究課題番号：20320009）、2008年4月1日～現在。

平野和彦

1. 論文

- (1) 単著「沙孟海早期書法學與其學術背景反思」（『沙孟海論壇—暨中國書學國際學術研討會論文集』浙江省書法家協會編・江蘇古籍出版社・2010年9月・pp.95 - 105）

2. 國際学会発表

- (1) 単独「沙孟海早期書法學與其學術背景反思」（紀念沙孟海先生誕辰110周年“沙孟海論壇”—中國書學國際學術研討會・於中華人民共和國浙江省杭州市・2010年11月12 - 13日）

3. エキシビジョン

- (1) 第4回 平野和彦個展（2010年8月27日 - 9月1日・於 GALLERY ROI）

- (2) GALLERY ROI 主催「風景画展」出品（2010年10月8日 - 10月13日・於 GALLERY ROI）

吉田 均

1. 著作（計5件）

（論文など）

- (1) 吉田均（JTBグローバルマーケティング&トラベル、独立行政法人情報通信研究所、日本電気株式会社との共著、本人は研究協議会の座長）、2010、『山梨県における観光振興に貢献する多言語自動翻訳技術の実証実験 開発・実証成果報告書』（総務省受託研究）、JTBグローバルマーケティング&トラベル
- (2) 吉田均・塚田涼子、2010、「山梨県における中国系企業誘致の可能性に関する研究」、『山梨国際研究』5号（2010年）、山梨県立大学

（学会抄録、エッセイほか）

- (3) 外国語メニュープロジェクト調査グループ、2010、「国際観光客誘致のための外国語メニューの開発に関するビジネスモデルの研究」、『山梨県立大学地域研究交流センター2009年度研究報告書』、山梨県立大学地域研究交流センター
- (4) 外国語メニュー研究グループ、2010、「外国語メニューの開発に関するビジネスモデルの研究」、『地域研究交流センターニューズレター』10号（2010年2月25日）、山梨県立大学地域研究交流センター
- (5) 外国語メニュープロジェクト調査グループ、2010、「国際観光客誘致のための外国語メニューの開発に関するビジネスモデルの研究」、『2009年度山梨県立大学地域研究交流センター年報』、山梨県立大学地域研究交流センター

2. 発表・講演（計10件）

（国際会議）

- (1) 吉田均、（2010年8月31日）、「地域間協力の推進による北東アジアの発展」（基調講演）、『第12回日中韓3カ国地方政府交流シ

ンポジウム』、(財)自治体国際化協会・長崎県。
(講演会など)

- (2) 吉田恵貞・吉田均 (2010年1月23日)、「子育て中の国際結婚家庭の立場から」、『パネルディスカッション「多文化共生時代の子育て支援」』、山梨県立大学人間福祉学部人間形成学科。
- (3) 吉田均 (2010年1月28日)、「日本の地域社会における国際協力活動と地域づくり」、『2009年度国際協力活動ステップアップ・ワークショップ』、(財)自治体国際化協会、共催：JICA。
- (4) 吉田均 (2010年3月1日)、「リーダーアクトの今後と青少年奉仕団体の支援について」、『甲府ロータリークラブ第2877回例会』、甲府ロータリークラブ。
- (5) 吉田均、(2010年6月2日)「地域での国際協力とJICAの役割」『JICA地球ひろば地域国際協力サポーターセミナー』、JICA地球ひろば地域連携課
- (6) 吉田均 (2010年6月27日)、「観光で私たちが行ってきたこと期待されること！国際観光から見る台湾」、『2010年台湾華僑総会総会』、台湾華僑総会。
- (7) 吉田均 (2010年7月29日)、「JICA草の根技術協力事業 四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業」、『第1回山梨県実行委員会』、山梨県国際交流課。
- (8) 吉田均 (2010年10月10日)、「やまなしY I A国際塾自主研究」、『オープンキャンパス やまなしY I A国際塾』、山梨県国際交流協会。
- (9) 吉田均 (2010年12月5日)、「山梨県における外国人観光客受け入れ体制の現状と課題」、『2010県民コミュニティーカレッジ』、大学コンソーシアムやまなし。
- (10) 吉田均、(2010年12月9日)「地域での国際協力とJICAの役割」『JICA地球ひろば地域国際協力サポーターセミナー』、JICA地球ひろば地域連携課

3. 社会貢献 (計8件)

(公設委員会など)

- (1) 「甲府市観光振興計画推進会議」委員 (副会長)、甲府市、平成21年7月17日～平成23年7月16日。
 - (2) 「笛吹市観光振興アクションプラン策定委員会」委員 (会長)、笛吹市、平成22年11月16日～平成23年3月31日。
 - (3) 「平成22年度甲府市事業仕分評価」(評価者)、甲府市行政改革推進課、平成22年7月3日。
 - (4) 「四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業」山梨県委員会委員 (委員長)、山梨県観光部国際交流課、平成22年7月29日～平成24年3月31日。
- (民間団体委員会、アドバイザーほか)
- (5) 国際協力機構 (JICA) 山梨県地域国際協力サポーター、独立行政法人国際協力機構広尾センター、平成22年4月1日～平成23年3月31日
 - (6) 独立行政法人国際協力機構 (JICA 専門家派遣)、JICA地球ひろば、2010年6月28日～7月2日 (出張期間)。
 - (7) 「インバウンド観光セミナー事業」事業アドバイザー、(社)やまなし観光推進機構、2010年11月5日～平成23年3月30日
 - (8) 第7回やまなし留学生スピーチコンテスト (審査委員長)、JICA地球ひろば、2010年11月28日。